

これからの私たちに必要なこと

延岡市 小村 みなみ

「選挙の立候補者ってどこでみると?」、「投票先って、どうやって決めればいいと?」、「投票所ってどこにあると??」

若者の皆さんは、このような疑問を感じたことはありませんか?そして、その疑問をそのままにしていますか??

この3つは私が実際に疑問に思っていた事です。私には2年前に選挙権が与えられ、この疑問を抱いたまま2年が過ぎました。ちゃんと調べて、選挙に行かなくちゃなあとは感じていましたが、その一方で、選挙とかどうでもいいわ、生きていければいいし、たった一人が投票しなかったくらいで何も変わらないだろう、そう思っていました。

しかし、今、私はこの場に立っています。それは、20歳になってようやく、選挙の大切さを実感したからです。

私が選挙に関心を持つようになったのは、延岡市の若者選挙啓発活動団体、ミニ選挙管理委員会という団体に入った事がとても影響しています。

ミニ選挙管理委員会、略してミニ選に入ったきっかけは、タダでご飯が食べられる、タダで東京に行ける!という選挙とは程遠い理由でした。

しかし、選挙の啓発活動に参加したり、研修に参加したり、ミニ選で選挙について学んでいくうちに、あれ、選挙って私たちの生活にすごく影響してる?と気づき始めました。

また、私は大学で福祉について学んでいます。そこで、福祉と政治は密接にかかわっており、税金は福祉施設の運営などにも使われていると知りました。ここでもまた、あれ、私の将来にも関わってくる大事なものじゃん!と気づきました。今まで知らなかっただけで、政治というものは私たちの生活そのものに影響するととても大事なものだのです。

しかし、政治は生活にかかわってる!選挙に行かないと!と、いきなり投票に行けと言われても、どういう立候補者がいるの?どうやって投票するの?投票所ってどこにあるの?というような選挙に関する基本的な情報を私たちは知りません。

これは、情報を知る機会が少ない、選挙や政治は堅苦しくて怖いイメージがあるので興味を持ちにくい等、様々な理由があると思います。これに関して、行政などに積極的な情報提供、選挙や政治を知るきっかけ作りを行ってほしいです。また、市民との交流の場を増やし、マイナスのイメージを減らして行ってほしいと思います。

また、私たちも積極的に情報を取り入れる必要があります。実はこういった情報は選挙に関する冊子にほとんど載っています。20数ページの小さな冊子一冊に、選挙と政治の話、選挙のしくみ、選挙に関する情報の集め方、投票の手順、住民票の異動について等、私たちが知りたいと思っている情報のほとんどが載っているのです。

私はこの冊子を大学の広報スペースで手に入れました。ほかの学校にもこの冊子は置いてあると思います。

今はインターネットも普及しており、ほとんどの人がスマホを持っている時代です。情報はわざわざ歩いて行かなくても手元にあるスマホで入手できる時代です。この時代に適したポータルマッチという情報収集のためのコンテンツもあります。ポータルマッチとは、表示される質問に答えていくと自分の考えに近い候補者や政党が表示されるコンテンツです。このコンテンツ一つで投票先を決めることはおすすめできませんが、手軽に選挙に関する情報がある程度知ることができるので情報収集の入り口としては最適であると思います。

それと同時に、メディアリテラシーが求められる時代でもありますが、とりあえず政治について調べてみる、とりあえず選挙について調べてみる、その一歩が私たちの未来に大きく関わってくるでしょう。

今、私たちに必要なことは、気づき、知ることです。

選挙に関する疑問を持ったことはありませんか？その疑問をそのままにしておいませんか？まずはそのことに対する気づきが大切です。

そして、その疑問を、つまり、自分の未来のための情報を積極的に吸収していきましょう。

未来のための情報というのは、進学先や就職先だけではなく、政治や選挙も私たちの未来に大きく関わっているものです。

選挙は大事だ、あなたの一票が必要だ、私たちよりも長く社会で生きている、大先輩達の言葉をないがしろにせず、受け取り、私たちの未来につなげていきませんか？

この発表が、若者たちが選挙や政治に関心を持つきっかけになることを、強く願っています。